

世界銀行東京事務所 エニューズ 第668号 2019年10月25日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 第100回世界銀行・IMF合同開発委員会開催
- (2) 「ビジネス環境の現状」:ビジネス環境の改善に向け、世界各国が294件の改革を実施
- (3) セミナーのお知らせ
- (4) 主なニュース

(1) 第100回世界銀行・IMF合同開発委員会開催

10月19日にワシントンDCで第100回世界銀行・IMF合同開発委員会が開催され、「世界開発報告（WDR）2020」における貿易とグローバル・バリューチェーンの拡大を通じた開発促進の提言が歓迎されるとともに、世界銀行グループとIMFが引き続き各国と協働しながら、潜在成長力と強靱性の強化、また歳入増と政策バッファの構築に努めていくことが求められました。また、脆弱国・紛争影響国への支援、民間セクターによる課題解決に向けた機会構築、世銀グループの優先課題の一つであるジェンダーの平等への取組強化等が提言されています。

第100回世銀・IMF合同開発委員会コミュニケーション

英語：<http://wrlld.bg/Kr3W30pMbU0>

日本語（ポイント、財務省）：<http://ow.ly/mwTq50wPT7e>

(2) 「ビジネス環境の現状」:ビジネス環境の改善に向け、世界各国が294件の改革を実施

世界銀行グループは、10月24日に発表した報告書「ビジネス環境の現状2020（Doing Business 2020）」の中で、世界115カ国・地域の政府が、民間セクターのビジネス環境を改善し、雇用の創出や商業活動の拡大、所得向上への道筋をつけるため、この1年間に294件の改革を実施したとしています。報告書によると、最もビジネス環境の改善が見られた上位10カ国は、サウジアラビア、ヨルダン、トーゴ、バーレーン、タジキスタン、パキスタン、クウェート、中国、インド、ナイジェリアで、10カ国中4カ国が中東・北アフリカ諸国でした。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/rDLr30pMbVk>

(3) セミナーのお知らせ

■南アジア経済報告：中央／地方分権化を機能させる

世界銀行モーニングセミナー（第51回）

日時：2019年11月5日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行の各地域総局では半年に1度（春と秋）、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。南アジア総局が10月13日に発表した「南アジア経済報告：（分）権化を機能させるために」（South Asia Economic Focus: Making (De)centralization Work）を取りまとめたロバート・バイヤー世界銀行南アジア地域総局チーフエコノミスト室 エコノミストがワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/vFoC30pMbWD>

■海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ
国際シンポジウム

日時：2019年11月13日（水）午後2時～午後6時

場所：北九州国際会議場 メインホール <https://convention-a.jp/access/>

内容：世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDL）は北九州市及び公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）とともに、海洋プラスチックごみ問題に関する国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムは国内外の自治体関係者や環境分野の専門家、実務者が集う、知見共有とネットワーク構築のプラットフォームを提供・構築することを目的としており、海洋プラごみに関する2つのテーマ「海洋プラごみ管理における国内外の課題と取組み」と「海洋プラごみ管理における官民連携」について議論します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/q3Ht30pJKUs>

■アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第26回

日時：2019年11月19日（火）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行の各地域総局では半年に1度（春と秋）、地域内の経済概況と展望をまとめた半期経済報告を発表しています。アフリカ地域総局が10月9日に発表した「アフリカの鼓動：アフリカ経済動向分析2019年10月版」（Africa's Pulse: An Analysis of Issues Shaping Africa's Economic Future – October 2019, Volume 20）について、セザール・カルデロン世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室リード・エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/yt7N30pMbY0>

(4) 主なニュース

■インド：労働力のスキル向上にJ.P.モルガンが支援協力

10月21日、インドにおける若者のスキル開発向上を目的とした世界銀行の新たなマルチドナー信託基金に対し、J.P.モルガンが最大1,000万ドルのコミットメントを発表しました。世界銀行はこの新たなプログラムを通じ、インドの民間セクターとの連携強化、革新的な介入の支援、学校教育の質の向上、およびスキル開発の分野での支援促進を目指します。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/dBOA30pM8VX>（英語）

■世界銀行とグローバルファンドのエイズ・結核・マラリア対策に向けたパートナーシップ

10月22日、世界銀行と世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）は、エイズ、結核、マラリアの流行を終わらせ、持続可能な保健システムを構築することを各国が推進し、加速するための協調融資枠組み協定に署名しました。この合意により、まずラオスにおけるユニバーサルヘルスケアへの取組みが支援される予定です。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/xcYZ30pM8Wq>（英語）

■フィリピン：人と環境を守るインフラ開発

世界銀行とオーストラリアのセーフガードパートナーシップ（WBASP）は、東アジア大洋州地域で環境への影響を最小限に抑えながら必要なインフラを構築する能力を築くための資金と技術支援を提供しています。2014年にフィリピンに設立された環境・社会ラーニングセンターでは、これまで1,400人以上の参加者が、環境・社会面の評価や管理方法などの様々な訓練を受けました。

特集：<http://wrlld.bg/ph1q30pM8WN>（英語）

■モバイルマネーが貧困地域や遠隔地の生計を改善

今年のノーベル経済学賞受賞者は、医学研究で生まれた「ランダム化比較試験（RTC）」の手法を、貧困削減を目指す開発経済学に応用したことが評価されました。この客観的な効果を評価する手法を用いてウガンダ北部の農村部でモバイルマネーの効果を測定したところ、モバイルマネーを使用する世帯や農場以外での自営業に携わる世帯の割合が増加し、食料安全保障を向上させる結果となりました。これは、貧しいコミュニティにデジタル金融サービスを拡大することの重要性を示しています。

ブログ：<http://wrlld.bg/o7Yo30pM8WK>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

世界銀行東京事務所 エニュース 第667号 2019年10月18日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会：マルパス総裁開会挨拶
- (2) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会ライブセミナー配信
- (3) 「アフリカにおける社会的包摂の重要性（仮題）」報告書発表
- (4) 多数国間投資保証機関（MIGA）2019年度年次報告書発表
- (5) ネパールで強靱なインフラ構築を促進
- (6) セミナーのお知らせ
- (7) 主なニュース

- (1) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会：マルパス総裁開会挨拶

10月17日、デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁はワシントンDCで世界銀行グループ・IMF年次総会の開会挨拶を行いました。スピーチでは、広範囲にわたる成長の促進や教育の重要性、最も貧しい国々を支援する国際開発協会（IDA）第19次増資などについて触れ、世界銀行グループの極度の貧困を削減し、共有の繁栄を促進するという目標に向けた努力を惜しまないことを表明しました。

スピーチ全文：<http://wrlld.bg/v3uv30pJMCw>（英語）

- (2) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会ライブセミナー配信

10月18-20日、ワシントンDCにおいて世界銀行グループ・IMF年次総会が開催されます。この総会に関連して開催される一連のセミナーを、ライブ配信でご覧いただけます。各分野の登壇者に対する質問も受け付けています。各セッションでは、グローバル・バリューチェーン、貿易と開発、生物多様性、女性のエンパワメント、人的資本の構築といった世界規模の課題について議論が交わされます。是非ご視聴ください。

世界銀行ライブ配信一覧：<http://wrlld.bg/laDD30pHwUk>（英語）

後日録画でもご覧いただけます。

■2019年世界銀行グループ・IMF年次総会・本会議

2019年10月18日（金）午後10時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/KDpK30pHy0i>（英語）

■経済的変革のための仕事

2019年10月19日（土）午前12時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/LqGi30pHxZI>（英語）

■アフリカ地域の現状：女性のエンパワメントとアフリカの変化

2019年10月19日（土）午後10時30分（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/9nUB30pHxYx>（英語）

- (3) 「アフリカにおける社会的包摂の重要性（仮題）」報告書発表

世界銀行は、10月17日の「貧困撲滅のための国際デー」にあたり、アフリカの社会的包摂に関する報告書「Inclusion Matters in Africa」を発表しました。

同報告書は、アフリカは長年にわたり社会的包摂において進歩を遂げてきたが、開発から取り残されている地域やグループがあると指摘し、女性のエンパワーメント、デジタル技術、脆弱性、気候変動などの分野に焦点を当て、誰が、何から、なぜ、どのように取り残されたのかを理解することが、アフリカにおける新たな取り組みにつながるとしています。

報告書：<http://wrlld.bg/cqmi30pJLsp>（英語）

(4) 多数国間投資保証機関（MIGA）2019年度年次報告書発表

多数国間投資保証機関（MIGA）の2019年度の年次報告書が刊行されました。本報告書で、MIGAは2019年度に6年前に比べ2倍となる55億ドルの保証を提供したと発表しました。また、IDA借入国（低所得国）や脆弱国向けのポートフォリオも6年前から倍増しました。MIGAの政治的リスク保険の総保証残高の3分の1がIDA借入国または脆弱国に充てられましたが、この背景には保証残高がやはり6年前から倍増の233億ドルに達したという実績があります。これは、世界的に投資に適したプロジェクトや対外直接投資（FDI）のIDA借入国や脆弱国への流入が減少しているなかで実現しました。詳細は年次報告書をご覧ください。

MIGA2019年度年次報告書：<http://wrlld.bg/DK2t30pJMXg>（英語）

MIGA2019年度開発効果（動画）：<https://youtu.be/rKtfWsBbtR8>（英語）

(5) ネパールで強靱なインフラ構築を促進

世界銀行は、ネパール政府および代替エネルギー促進センター（AEPC）と共同で、ネパールにおける気候変動や災害に強い再生可能エネルギー分散型電力システムの強化に関するワークショップを2019年9月10日から11日にかけてカトマンズで開催し、日本の電力システムに関する知見が共有されました。このワークショップは、国内のエネルギー供給全般を改善しようとするネパールの取り組みを支援することを目指しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/hY9g30pJKSz>

(6) セミナーのお知らせ

■女性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から
世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第25回

日時：2019年10月23日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行は2019年3月に報告書「女性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から」（Profiting from Parity : Unlocking the Potential of Women's Business in Africa）を発表しました。マークス・ゴールドSTEIN世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室主任エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/u0xt30pF1W6>

■東アジア・大洋州地域 半期経済報告書
世界銀行モーニングセミナー（第50回）

日時：2019年10月25日（金）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：10月10日発表予定の「東アジア・大洋州地域 半期経済報告書」（East Asia and Pacific Economic Update, October 2019）を取りまとめるアンドリュー・メイソン世界銀行東アジア・大洋州地域担当チーフエコノミスト室リードエコノミストが、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介

介し、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/UQ5230pFXPf>

■海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ 国際シンポジウム

日時：2019年11月13日（水）午後2時～午後6時

場所：北九州国際会議場 メインホール<https://convention-a.jp/access/>

内容：世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）は北九州市及び公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）とともに、海洋プラスチックごみ問題に関する国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムは国内外の自治体関係者や環境分野の専門家、実務者が集う、知見共有とネットワーク構築のプラットフォームを提供・構築することを目的としており、海洋プラスチックごみに関する2つのテーマ「海洋プラスチックごみ管理における国内外の課題と取組み」と「海洋プラスチックごみ管理における官民連携」について議論します。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/q3Ht30pJKUs>

(5) 主なニュース

■インド：ウッタル・プラデシュ州の安全で気候変動に強い道路の建設に4億ドル

世界銀行は10月11日、ウッタル・プラデシュ州政府と、道路整備に4億ドルを支援することで合意に至りました。州道500キロを対象に、混雑解消を通じて事故を減らすと共に、気候変動にも強い道路を目指します。本プロジェクトでは、保守・点検担当の労働者の30%以上を女性とすることが義務付けられているため、女性の雇用機会拡大が期待されています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/RyzZ30pJr1v>（英語）

■南アジア地域：経済成長の鈍化が続き、景気回復の見通しは不透明

世界銀行は、半年に一度発表する「南アジア経済報告」の最新版で、かつては高度成長を牽引していた旺盛な内需の弱まりを受け域内全体で景気低迷が見られると指摘しています。世界的な景気減速傾向の中、南アジア全体の2019年の成長率は、4月時点の予想を1.1%ポイント下回る5.9%へと下方修正され、短期的な回復への懸念が生じています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/wC3x30pJr4i>（英語）

■モロッコ：灌漑と技術導入により農業生産性を向上

水不足が深刻なモロッコで、近代的な灌漑と技術へのアクセス改善により農業生産性を高めるプロジェクトが進められています。これまでに6,811人の農民を対象に給水サービスを改善し、アグリビジネスにおける専門的な管理能力が強化されました。また、対象地域の43%で2,305人（内、女性は230人）が灌漑技術の効率化の恩恵を受けています。

成果：<http://wrlld.bg/MWqi30pJr5o>（英語）

■大気汚染と無縁な人は世界人口の1割未満

2017年、世界人口の90%以上が汚れた空気にさらされており、大気汚染は世界で5番目に大きな死亡リスクです。大気中の微小粒子状物質（PM2.5）は髪の毛の太さの28分の1とごく小さいため呼吸器の奥深くまで入りやすく、濃度が10 µg/m³を超えると、心肺疾患や肺がんなど深刻な健康被害を引き起こす恐れがあります。

ブログ：<http://wrlld.bg/ZFUe30pJr6F>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

【世界銀行東京事務所 エニューズ 666号】世界銀行マルパス総裁、年次総会に向けたスピーチ：「強固な土台に支えられた成長促進を」、他

世界銀行東京事務所 エニューズ 第666号 2019年10月11日 発行 <http://bit.ly/tL300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行マルパス総裁、年次総会に向けたスピーチ：「強固な土台に支えられた成長促進を」
- (2) 「世界開発報告（WDR）2020：グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進（仮題）」発表
- (3) 地域経済報告発表
- (4) 内藤証券がサステナブル・ディベロップメント・ボンドを販売 —食品ロスと廃棄問題への取り組みを支援—
- (5) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会ライブセミナー配信
- (6) セミナーのお知らせ
- (7) 主なニュース

- (1) 世界銀行マルパス総裁、年次総会に向けたスピーチ：「強固な土台に支えられた成長促進を」

デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁は、18日からワシントンDCで開催される世界銀行・IMF年次総会に先駆けてカナダのマギル大学にてスピーチを行い、世界経済は脆弱な状態にあるが、強力な政策枠組みと堅固な組織・制度があれば、多くの途上国が広範な成長を成し遂げ、貧困の削減と繁栄の共有を実現できると語りました。スピーチは録画でもご覧いただけます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/vFWY30pHvTR>

録画：<http://wrlld.bg/xWZe30pHvU9>（英語）

- (2) 「世界開発報告（WDR）2020：グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進（仮題）」発表

10月8日、世界銀行が発表した報告書「世界開発報告（WDR）2020：グローバル・バリューチェーン時代の貿易による開発促進（仮題）」は、貿易と成長が減速する中、途上国はグローバル・バリューチェーンへの参加を拡大する改革を実行することで開発成果を高め、国民に利益をもたらすことができると指摘しています。さらに同報告書は、こうした改革は途上国が経済的恩恵を社会全体で共有することを可能にするだけでなく、一次産品輸出からベーシックな製造業への移行を支援すると結論付けています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/lrd330pHvSw>

報告書：<http://wrlld.bg/kmS730pHvXx>（英語）

- (3) 地域経済報告発表

■東アジア・大洋州地域 半期経済報告 最新版発表

世界銀行は「東アジア・大洋州地域 半期経済報告」最新版の中で、東アジア・大洋州地域（EAP）の途上国経済の成長は、輸出の広範な伸び悩みと製造業の低迷を反映し、2018年の6.3%から2019年は5.8%、2020年は5.7%、2021年は5.6%へと軟化が続くと予測しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/1Xhs30pHwI5>

報告書：<http://wrlld.bg/mVQK30pHwkU>（英語）

■アフリカ地域経済報告「アフリカの鼓動」最新版発表

半期に一度アフリカ経済の動向を分析する「アフリカの鼓動」2020年版によると、サブサハラ・アフリカ地域の2019年の成長率は、世界経済の不透明感が

続き、国内改革のペースも遅いことから、引き続き低水準にとどまりました。2020年版には貧困削減の加速と女性のエンパワメントに関する特別な章が設けられており、成長には貧困層、少女、女性のエンパワメントが不可欠としています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/UyqT30pHvMB>

報告書：<http://wrlld.bg/NFp930pHvYa>（英語）

(4) 内藤証券がサステナブル・ディベロップメント・ボンドを販売 — 食品ロスと廃棄問題への取り組みを支援—

世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行：IBRD、ムーディーズ: Aaa、スタンダード & プアーズ: AAA）は、国内の個人投資家向けに期間3年の南アフリカ・ランド建て及びインド・ルピー建てのサステナブル・ディベロップメント・ボンド（世銀債）を発行し、内藤証券株式会社が販売します。サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。本債券は、食品ロスと廃棄問題への対処を含む、様々な持続可能な開発プロジェクトへの融資を支えます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/WxOT30pHw1d>

(5) 2019年世界銀行グループ・IMF年次総会ライブセミナー配信

10月18-20日、ワシントンDCにおいて世界銀行グループ・IMF年次総会が開催されます。この総会に関連して開催される一連のセミナーを、ライブ配信でご覧いただけます。各分野の登壇者に対する質問も受け付けています。各セッションでは、グローバル・バリューチェーン、貿易と開発、生物多様性、女性のエンパワメント、人的資本の構築といった世界規模の課題について議論が交わされます。是非ご視聴ください。

世界銀行ライブ配信一覧：<http://wrlld.bg/laDD30pHwUk>（英語）

後日録画でもご覧いただけます。

■持続可能な平和に向けて

2019年10月17日（木）午前5時30分（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/8m6S30pHxYF>（英語）

■ブロードバンドでアフリカを繋げる：包摂的成長へのロードマップ

2019年10月18日（金）午前12時30分（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/lqRz30pHxZw>（英語）

■貧困とは：人的資本の基礎を築く

2019年10月18日（金）午前1時30分（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/r4HW30pHxY8>（英語）

■自然に投資する：生物多様性の隠れた価値

2019年10月18日（金）午前3時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/rFIQ30pHxZ4>（英語）

■一時代の終焉？グローバル・バリューチェーン、貿易と開発

2019年10月18日（金）午前3時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら：<http://wrlld.bg/7YMe30pHxXH>（英語）

■2019年世界銀行グループ・IMF年次総会・本会議

2019年10月18日（金）午後10時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら： <http://wrlld.bg/KDpK30pHy0i>（英語）

■経済的変革のための仕事

2019年10月19日（土）午前12時（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら： <http://wrlld.bg/LqGi30pHxZl>（英語）

■アフリカ地域の現状：女性のエンパワメントとアフリカの変化

2019年10月19日（土）午後10時30分（日本時間）より

ライブの視聴、質問はこちら： <http://wrlld.bg/9nUB30pHxYx>（英語）

(6) セミナーのお知らせ

■障害包摂性・アカウンタビリティフレームワーク

世界銀行モーニングセミナー（第48回）

日時：2019年10月16日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：2018年6月に世界銀行が発表した「障害包摂性・アカウンタビリティフレームワーク」（Disability Inclusion and Accountability Framework）の作成を主導したシャーロット・マクレイン＝ンハラポ世界銀行グローバル障害アドバイザーがテレビ会議でワシントンより同フレームワークのポイントをご紹介します、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み： <http://wrlld.bg/Ljpl30pF1Vm>

■女性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から

世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第25回

日時：2019年10月23日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行は2019年3月に報告書「女性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から」（Profiting from Parity : Unlocking the Potential of Women's Business in Africa）を発表しました。マークス・ゴールドSTEIN世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室主任エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み： <http://wrlld.bg/u0xt30pF1W6>

■東アジア・大洋州地域 半期経済報告書

世界銀行モーニングセミナー（第50回）

日時：2019年10月25日（金）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：10月10日発表予定の「東アジア・大洋州地域 半期経済報告書」（East Asia and Pacific Economic Update, October 2019）を取りまとめるアンドリュー・メイソン世界銀行東アジア・大洋州地域担当チーフエコノミスト室リードエコノミストが、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み： <http://wrlld.bg/UQ5230pFXPf>

(5) 主なニュース

■世界銀行グループ：2020年期限の気候変動対策に、2年連続で目標以上の投資

2019年度、世界銀行グループの気候関連の投資は178億ドルと、2年連続で目標額を上回りました。シエラレオネの交通システム、パキスタンの食糧確保、ベトナム都市部の洪水リスク緩和等に充てられます。世界銀行グループは2021～25年、影響への適応のため、過去5年間の倍に当たる2,000億ドルの投資・動員を目指します。

特集：<http://wrlld.bg/311R30pHw54>（英語）

■モンゴル：世界銀行とセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、農村部の若者の機会を広げるプロジェクトを開始

10月3日、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ）と世界銀行は、モンゴルの農村部の脆弱な若者を支援するプロジェクトに対し、275万ドルのグラント提供を発表しました。このプロジェクトは、日本政府が日本社会開発基金（JSDF）を通じて資金を拠出し、世界銀行が管理しており、恵まれない農村地域の若者が学校や労働市場で成功するために必要な技能を獲得できるよう支援します。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/Uupm30pHd28>（英語）

■アフリカでは人口の85%が1日5.50ドル未満で生活

東アジア・大洋州地域で大幅な貧困削減が進み、上位中所得国の尺度で見た貧困ラインである5.50ドルを上回る人が人口の7割近くとなりました。一方、アフリカでは、国際的な貧困ラインである1日1.9ドル未満で暮らす極度の貧困層こそ減少したものの、5.50ドルを下回る人々が人口の85%を占めています。

ブログ：<http://wrlld.bg/T2tV30pHw5h>（英語）

■TICAD7開催に伴い「日本・アフリカ大学連携」、「日本・アフリカ産学連携」第2回公開フォーラムを開催

2019年8月27日から9月3日、世界銀行によるアフリカ高等教育支援プログラムに参加するアフリカの大学関係者、プログラムの代表らが日本を訪問しました。滞在中、TICAD7への参加、「日本・アフリカ大学連携」、「日本・アフリカ産学連携」フォーラム開催、日本の大学、企業訪問などを通じて、日本の大学、企業、研究機関との連携の機会を模索しました。

特集：<http://wrlld.bg/TS9b30pHwUB>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>

【世界銀行東京事務所 エニュース 665号】世界銀行国際債務統計：途上国の債務残高、2018年は7兆8,000万ドルに拡大、他

世界銀行東京事務所 エニュース 第665号 2019年10月7日 発行 <http://bit.ly/tl300Q>

<目次>

- (1) 世界銀行国際債務統計：途上国の債務残高、2018年は7兆8,000万ドルに拡大
- (2) 池田泉州TT証券・とちぎんTT証券がサステナブルディベロップメントボンドを販売
- (3) 世界銀行グループMIGAアンダーライター募集（締切：2019年10月21日）
- (4) セミナーのお知らせ
- (5) 主なニュース

- (1) 世界銀行国際債務統計：途上国の債務残高、2018年は7兆8,000万ドルに拡大

10月2日、世界銀行は「国際債務統計」2020年版を発表しました。報告書によると、低・中所得国の2018年の対外債務総額は、前年比5.3%増の7兆8,000万ドルに達し、低・中所得国の対外債務負担は平均すれば適度な水準にあったものの、一部の国では2009年以降、債務水準が悪化傾向にあると指摘しています。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/ieCK30pF1Us>

- (2) 池田泉州TT証券・とちぎんTT証券がサステナブルディベロップメントボンドを販売

世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行：IBRD、ムーディーズ: Aaa、スタンダード&プアーズ: AAA）は、国内の個人投資家向けに期間5年のインドネシアルピア建てのサステナブル・ディベロップメント・ボンド（世銀債）を発行し、池田泉州TT証券及びとちぎんTT証券が販売します。サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、海洋プラスチック汚染問題への取り組みを含む、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む農業・食料安全保障、教育、エネルギー、金融、貿易・産業、保健、行政・インフラ・ガバナンス、水・公衆衛生、環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/aEeW30pF1Va>

- (3) 世界銀行グループMIGAアンダーライター募集（締切：2019年10月21日）

現在、世界銀行グループMIGA（多数国間投資保証機関）では、アンダーライターを募集中です。アンダーライターとはMIGAの保証業務のエグゼキュションチームの一員として案件の分析、審査資料の作成、保証契約の交渉を担当し、MIGA内の各セクション間の調整を図り、案件をリードすることが求められます。また、新規案件組成の為に活動も担っていただきます。

応募条件は、関連分野での修士号と5年程度の実務経験もしくはそれに準ずる経験、英語がネイティブもしくはそれに準ずるレベルであること、等です。今回の募集では、日系顧客の増加に対応し日本語（ネイティブレベル）も好ましい要件の一つに入っておりますので、関連業界でご経験のある方はぜひご応募ください。

応募締切：2019年10月21日午前8時59分（日本時間）

詳細：<http://wrlld.bg/2Ctj30pF2Tc>

(4) セミナーのお知らせ

■障害包摂性・アカウンタビリティフレームワーク

世界銀行モーニングセミナー（第48回）

日時：2019年10月16日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：2018年6月に世界銀行が発表した「障害包摂性・アカウンタビリティフレームワーク」（Disability Inclusion and Accountability Framework）の作成を主導したシャーロット・マクレイソンハラポ世界銀行グローバル障害アドバイザーがテレビ会議でワシントンより同フレームワークのポイントをご紹介します、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/LJpl30pF1Vm>

■性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から

世界銀行グループTICADセミナーシリーズ第25回

日時：2019年10月23日（水）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：世界銀行は2019年3月に報告書「女性事業者の制約を解消する：アフリカの経済生産性向上の視点から」（Profiting from Parity: Unlocking the Potential of Women's Business in Africa）を発表しました。マークス・ゴールドSTEIN世界銀行アフリカ地域総局チーフエコノミスト室主任エコノミストがテレビ会議で同報告書の主なポイントをワシントンよりご説明し、皆様のご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/u0xt30pF1W6>

■東アジア・大洋州地域 半期経済報告書

世界銀行モーニングセミナー（第50回）

日時：2019年10月25日（金）午前7時45分～午前8時45分

場所：世界銀行東京事務所 <http://ow.ly/Ok6kd>

内容：10月10日発表予定の「東アジア・大洋州地域 半期経済報告書」（East Asia and Pacific Economic Update, October 2019）を取りまとめるアンドリュウ・メイソン世界銀行東アジア・大洋州地域担当チーフエコノミスト室リードエコノミストが、ワシントンよりテレビ会議で同報告書の主なポイントをご紹介します、皆様からのご質問にお答えします。

詳細・お申込み：<http://wrlld.bg/UQ5230pFXPf>

(5) 主なニュース

■インド：自作農12.5万人を対象に気候変動対応型の農業を支援

世界銀行理事会は9月30日、インドの天水農業を営む自作農のために1億6,500万ドルの支援を承認しました。度重なる干ばつや洪水に対し、貯水槽の修復等により気候変動への強靭性を高め、温室効果ガス排出量の削減を進めます。また、環境ストレスに強い種子や生産技術を普及させ栽培品目の多様化を図ることで、食糧の安定供給と農業所得の拡大を目指します。

プレスリリース：<http://wrlld.bg/nGK030pF24H>（英語）

■モザンビーク：サイクロン被災後の農村道路修復を支援

9月30日、世界銀行は2度にわたるサイクロン上陸により被災したモザンビークに対し、国際開発協会（IDA）を通じた1億1,000万ドルの追加支援を承認しました。各地で農村道路が遮断され、多くのコミュニティが孤立しましたが、今回の追加支援により、2018年に承認された道路整備プロジェクトの対象範囲が新たに4つの州に拡大され、そうした道路や橋の修復に充てられます。

プレスリリース： <http://wrlid.bg/Fzmc30pF24N>（英語）

■ジブチ：3万5,000人を対象とする新教育プロジェクトに着手

世界銀行は9月30日、ジブチにおける新教育プロジェクトを発表しました。当プロジェクトは、難民や受入コミュニティをはじめ貧困・脆弱層の子供3万5,000人に質の高い教育を提供するため、幼児教育、教師の質の向上、管轄する経済財務省の機能強化、成果のモニタリング用の新デジタル・システム導入を進めます。誰もが夢の実現に必要なスキルを身に付ける機会の確保は、将来的に国の成長の原動力となる人的資本への投資です。

プレスリリース： <http://wrlid.bg/cvP630pF24R>（英語）

■ウガンダ：一層の支援が求められる難民受け入れコミュニティ

ウガンダは現在、アフリカで最多の130万人の難民を受け入れており、その寛容なアプローチの下、水や電力、保健、教育等のサービスが進められ、他の受入国の模範となっています。ただし難民の貧困率は高く、技能習得や職業訓練の機会が著しく乏しいなど、受入コミュニティを含めその社会・経済状況の改善にはまだ多くの課題が残されています。

プレスリリース： <http://wrlid.bg/RpPx30pF253>（英語）

世界銀行東京事務所

電話 03-3597-6650 FAX 03-3597-6695 <http://bit.ly/uclAmw>

世界銀行東京事務所ツイッター <https://twitter.com/WorldBankTokyo>

世界銀行東京事務所フェイスブックページ <https://www.facebook.com/WorldBankTokyo/>

世界銀行東京事務所インスタグラム <http://instagram.com/worldbanktokyo>